

スライド条項の計算例

令和5年3月

千葉県 県土整備部 技術管理課

1. スライドの分類
2. 単品スライド
請求額計算例 記入方法
3. 全体スライド
4. インフレスライド
5. お問い合わせ先

1. スライドの分類

1. スライドの分類

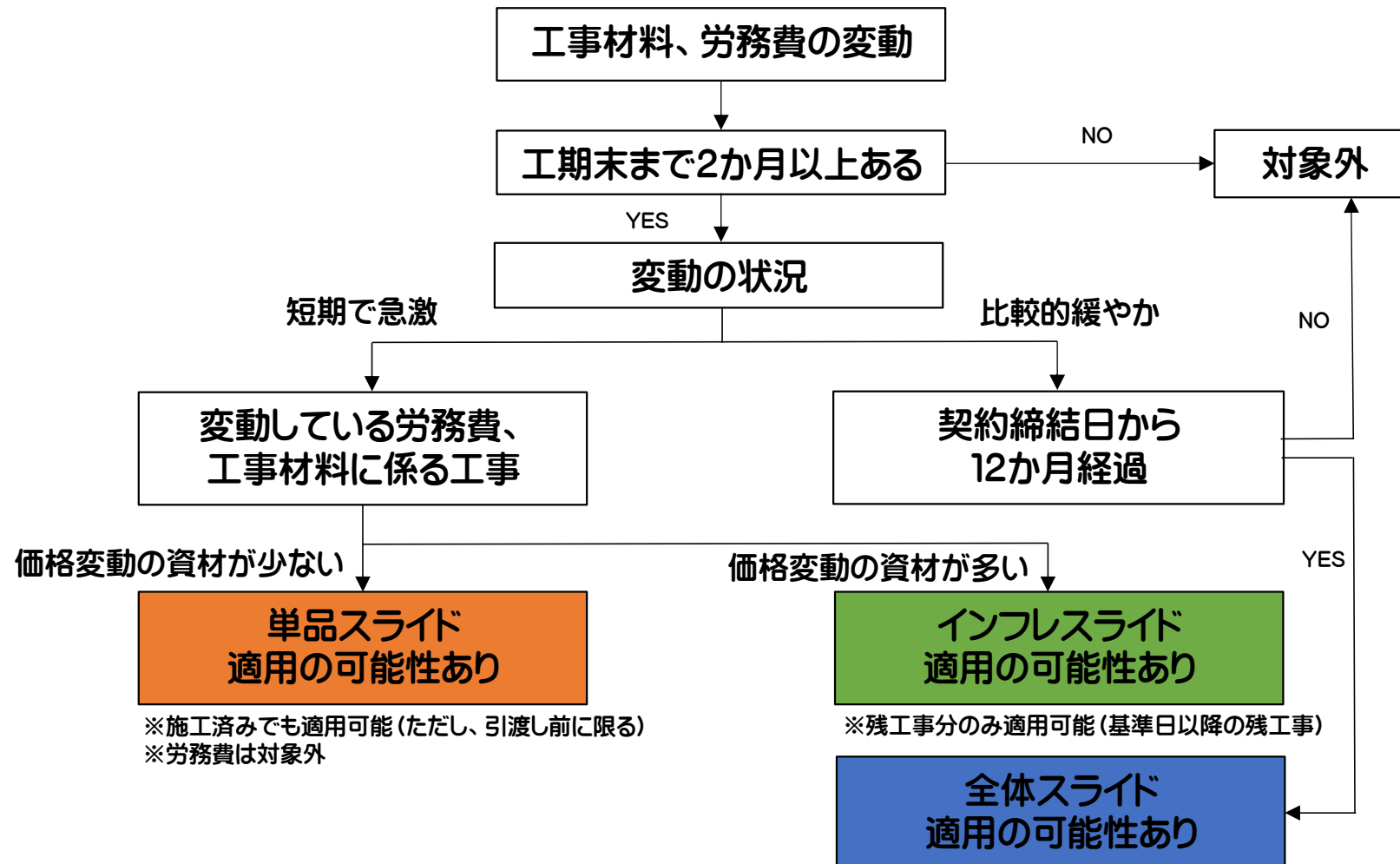
1. スライドの分類

各スライドについて

項目		全体スライド (第1～4項)	単品スライド (第5項)	インフレスライド (第6項)
適用対象工事		工期が12ヶ月を超える工事 但し、残工期が2ヶ月以上ある 工事（比較的大規模な長期 工事）	すべての工事 但し、残工期が2ヶ月以上ある 工事	すべての工事 但し、残工期が2ヶ月以上ある 工事
条項の趣旨		比較的緩やかな価格水準の変動 に対応する措置	特定の資材価格の急激な変動に 対応する措置	急激な価格水準の変動に対応 する措置
請負額変更 の方法	対 象	請負契約締結の日から12ヶ月 経過後の残工事量に対する資材、 労務単価、機械損料、諸経費等	部分払いを行った出来高部分を 除く全ての資材（鋼材類、燃料 油類、アスファルト類、コンク リート類、その他主要資材）	賃金水準又は物価水準の変更が なされた日以降の残工事量に 対する資材、労務単価、機械 損料、諸経費等
	受注者の負 担	残工事費の1.5%	対象工事費の1.0% （但し、全体スライド又はイン フレスライドと併用の場合、 全体スライド又はインフレ スライド適用期間における負担 はなし）	残工事費の1.0% （30条「不可抗力による損害」 に準拠し、建設業者の経営上 最小限度必要な利益まで損なわ ないよう定められた「1%」を 採用）
	再スライド	可能 （全体スライド又はインフレ スライド適用後、12ヶ月経過後 に適用可能）	なし （部分払いを行った出来高部分 を除いた工期内全ての資材を 対象に、変更契約後にスライド 額を算出するため、再スライド の必要がない）	可能

1. スライドの分類

下記のフローにより適用の可能性のあるスライドを確認することができます。



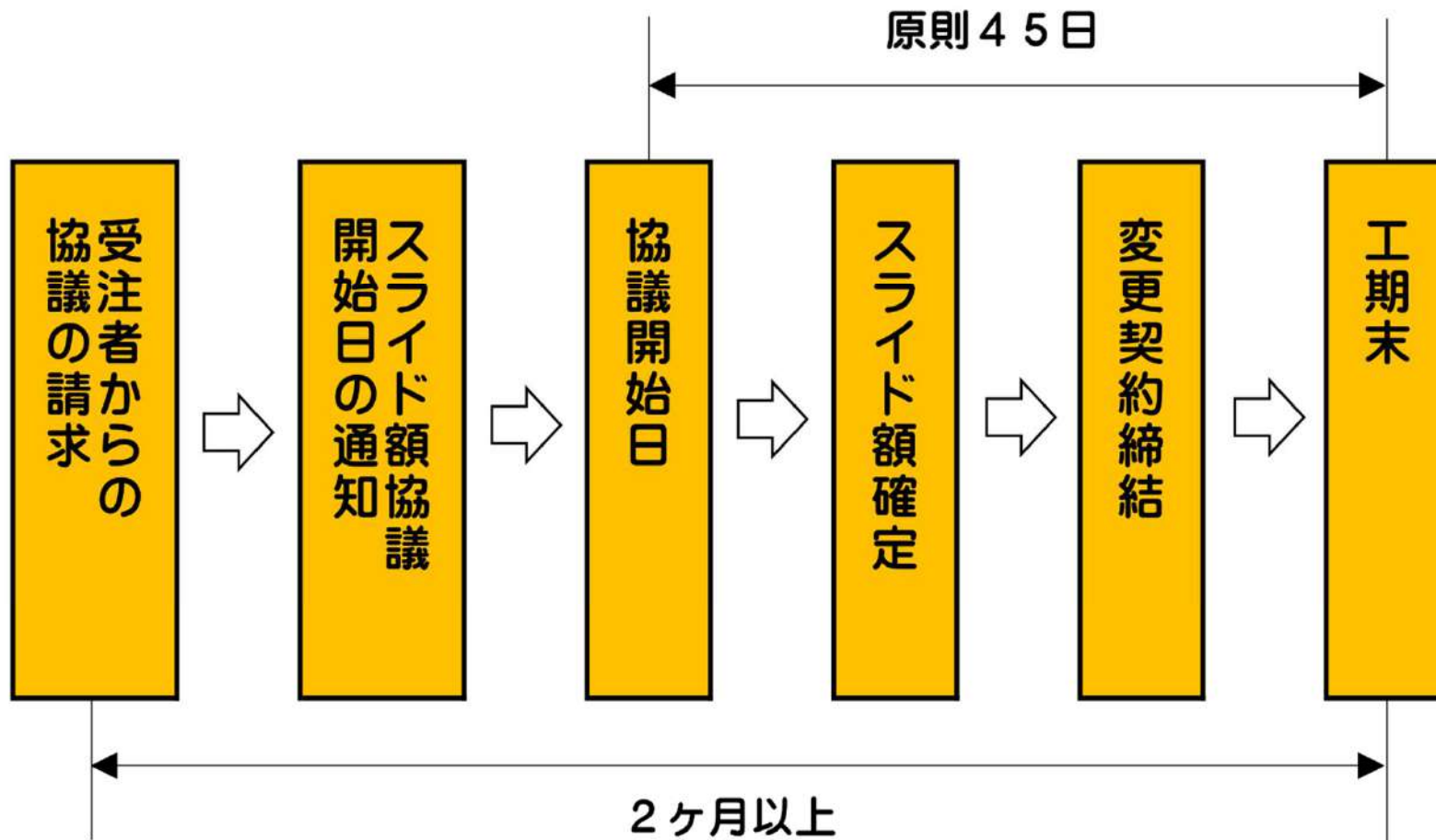
2. 単品スライド

2. 単品スライド

〈 建設工事請負契約書第26条第5項 〉

2. 単品スライド

手続きの流れ



2. 単品スライド

対象 (A)	対象外 (既済部分)
・変動額が対象工事費の1% を超える工事材料 (対象工事費 = 請負代金額 - 既済部分請負代金額)	・部分払完了部分 (※1) ・部分引渡し完了部分

※1 部分払検査請求時に単品スライド条項の適用対象とすることを要請し、
部分払検査結果通知に適用対象と記載があった場合は、対象とすることができます。

スライド額 (変更額)

$$= A \text{ の変動額 } - \text{ 対象工事費 } \times 1\%$$

2. 単品スライド

様式-7

[受注者からの要請]

令和 年 月 日

(発注者宛)

様

住所
受注者
氏名

請負工事既済部分検査請求書

建設工事請負契約書第38条第2項により既済部分検査を請求します。

今回、請求する部分払いの範囲については、建設工事請負契約書第26条第5項の請求対象とすることを併せて要請します。

記

工 事 名	× ○ × ○ × 工事
工 期	自 令和 年 月 日
	至 令和 年 月 日

(注) 1. 監督職員に提出

2. 単品スライド

スライド額の算出

スライド額 =

$$\begin{aligned} & \left(\begin{array}{l} \text{鋼材類の変動額} \\ (M\text{変更鋼} - M\text{当初鋼}) \end{array} + \begin{array}{l} \text{燃料油の変動額} \\ (M\text{変更油} - M\text{当初油}) \end{array} + \begin{array}{l} \text{その他材料の変動額} \\ (M\text{変更材料} - M\text{当初材料}) \end{array} \right) \\ & - \left(\text{対象工事費} \times 1\% \right) \end{aligned}$$

M当初鋼, M当初油, M当初材料 (価格変動前の金額)

= 設計時点の実勢価格 (消費税込) × 対象数量 × 落札率

M変更鋼, M変更油, M変更材料 (価格変動後の金額)

= 変動後の実勢価格 (消費税込) × 対象数量 × 落札率

※それぞれの品目毎の変動後の金額は、実勢価格に基づき算出した額と実際の購入金額とのどちらか低い方とする。ただし、受注者が実際の購入金額が適当な購入金額であることを証明する書類を示し、認められる場合に限り、実際の購入金額を用いてスライド額を算定する。

2. 単品スライド

スライド計算例 1

請負代金額 : 200,000,000
 1%相当額 : 2,000,000

2,000,000 > 300,000
 2,000,000 < 2,400,000
 となるため、鋼材類のみスライド対象

(消費税込み)

主要材料	各材料	価格変動前の金額	価格変動後の金額	変動額	対象の判定
燃料油	軽油	1,000,000	1,200,000	200,000	×
	ガソリン	500,000	600,000	100,000	
	合計	1,500,000	1,800,000	300,000	
鋼材類	異形棒鋼	5,000,000	7,000,000	2,000,000	○
	H形鋼	1,000,000	1,400,000	400,000	
	合計	6,000,000	8,400,000	2,400,000	

スライド額 = 2,400,000 - 2,000,000 = 400,000

2. 単品スライド

スライド計算例 2

請負代金額 : 100,000,000
 1%相当額 : 1,000,000

1,000,000 < 1,100,000
1,000,000 < 2,400,000
 となるため、燃料油・鋼材類ともにスライド対象

(消費税込み)

主要材料	各材料	価格変動前 の金額	価格変動後 の金額	変動額	対象の判定
燃料油	軽油	5,000,000	6,000,000	1,000,000	○
	ガソリン	500,000	600,000	100,000	
	合計	5,500,000	6,600,000	1,100,000	
鋼材類	異形棒鋼	5,000,000	7,000,000	2,000,000	○
	H形鋼	1,000,000	1,400,000	400,000	
	合計	6,000,000	8,400,000	2,400,000	

スライド額 = 1,100,000 + 2,400,000 - 1,000,000 = 2,500,000

2. 単品スライド

2. 単品スライド 請求額計算例 記入方法

2. 単品スライド 請求額計算例

- ① 設計額（税込み）を記入
- ② 請負代金額（税込み）を記入

【単品スライド計算例】

設計額	① 143,000,000	請負代金額	② 127,270,000	落札率(%)	0.89	部分払相当額	③	1%相当額	④
-----	---------------	-------	---------------	--------	------	--------	---	-------	---

《スライド対象判定表》

主要材料	品目 (各材料)	規格	設計数量 (Do)	対象数量 (D)	価格変動前 の単価	価格変動前 の金額(税込)	価格変動後 の単価(税抜)	対象数量×価 格変動後 の単価(税込)	落札率考慮	購入価格 (税込)	価格変動後 の金額(税込)	変動額	判定	
					(p)	(M当初)	(p')				(M変更)			(M変更 or P')
					D*p*k*	D*p*k*	D*p'			P*	M変更k or P'	M変更 - M当初		
					(1+消費税率)	(1+消費税率)	(1+消費税率)			(1+消費税率)				
鋼材類			⑨'	⑩ 0.000	0	#DIV/0!	⑩	0	#DIV/0!	⑫	0	#DIV/0!	#DIV/0!	####
				0.000	0	#DIV/0!		0	#DIV/0!	0	0	#DIV/0!	#DIV/0!	
	合計					#DIV/0!					#DIV/0!	⑮ #DIV/0!		
燃料油				0.000	0	#DIV/0!	⑪	0	#DIV/0!	0	0	#DIV/0!	#DIV/0!	####
				0.000	0	#DIV/0!	⑫	0	#DIV/0!	0	0	#DIV/0!	#DIV/0!	
				0.000	0	#DIV/0!	⑪	0	#DIV/0!	0	0	#DIV/0!	#DIV/0!	
	合計					#DIV/0!					#DIV/0!	⑯ #DIV/0!		
その他の品目 ①				0.000	0	#DIV/0!		#VALUE!	#VALUE!	0	#VALUE!	#VALUE!	####	
				0.000	0	#DIV/0!		#VALUE!	#VALUE!	0	#VALUE!	#VALUE!		
	合計					#DIV/0!				0	#VALUE!	⑰ #VALUE!		
その他の品目 ②				0.000	0	#DIV/0!	0	0	#DIV/0!	0	#DIV/0!	#DIV/0!	####	
				0.000	0	#DIV/0!	0	0	#DIV/0!	0	#DIV/0!	#DIV/0!		
	合計					#DIV/0!				0	#DIV/0!	⑱ #DIV/0!		
スライド額	⑮ #DIV/0!	+	⑯ 対象外 #DIV/0!	+	⑰ #VALUE!	+	⑱ #DIV/0!	-	⑲	0	=	⑳ #DIV/0!		

2. 単品スライド 請求額計算例

- ③ 部分払いを行っている場合は「部分払相当額」を記入。
 ただし、部分払検査請求時に、部分払いを行う分について単品スライド条項の請求対象とする旨の要請をしていた場合は、未記入とする。

部分払いの支払額は、出来高に該当する請負代金額相当額の9割以下とされていることから、「部分払時の支払額＝部分払対象となった請負代金額相当額（部分払相当額）」ではないことに注意。

【単品スライド計算例】

設計額	① 143,000,000	請負代金額	② 127,270,000	落札率(k)	0.89	部分払相当額	③ 77,000,000	1%相当額	④ 502,700
-----	---------------	-------	---------------	--------	------	--------	--------------	-------	-----------

主要材料	品目 (各材料)	規格	設計数量 (Do)	対象数量 (D)	価格変動前 の単価 (p)	価格変動前 の金額(税込) (M当初)	価格変動後 の単価(税抜) (p')	対象数量×価 格変動後 の単価(税込) (M変更)	落札率考慮 (M変更)×k	購入価格 (税込) (P)	価格変動後 の金額(税込) (M変更)	変動額 (So)	判定
鋼材類			Do	D	p	D×p×k (1+消費税率)	p'	D×p' (1+消費税率)	M変更×k	P	M変更	M変更 - M当初	####
						#DIV/0!							
						#DIV/0!							
	合計					#DIV/0!					#DIV/0!	#DIV/0!	
燃料油				0.000	0	#DIV/0!		0	#DIV/0!	0	#DIV/0!	#DIV/0!	####
				0.000	0	#DIV/0!		0	#DIV/0!	0	#DIV/0!	#DIV/0!	
				0.000	0	#DIV/0!		0	#DIV/0!	0	#DIV/0!	#DIV/0!	
	合計					#DIV/0!					#DIV/0!	#DIV/0!	

2. 単品スライド 請求額計算例

④ スライド対象としたい「各材料」、「規格」、「設計数量」を記入

【単品スライド計算例】

設計額	① 143,000,000	請負代金額	② 127,270,000	落札率(k)	0.89	部分払相当額	③ 77,000,000	1%相当額	④ 502,700
-----	---------------	-------	---------------	--------	------	--------	--------------	-------	-----------

《スライド対象判定表》

主要材料	品目 (各材料)	規格	設計数量	対象数量	価格変動前	価格変動前	価格変動後	対象数量×価 格変動後の 単価(税込)	落札率考慮	購入価格	価格変動後	変動額	判定		
					の単価	の金額(税込)	の単価(税込)			(税込)	の金額(税込)				
	1	2	(Do)	(D)	4	(p)	(M当初)	(p')	(M変更k)	(P)	(M変更)	(So)			
							D×p×k* (1+消費税率)	p'	M変更×k	P* (1+消費税率)	M変更k or P'	M変更 - M当初			
鋼材類	異形棒鋼	SD295 D16	⑨ 20	10	0.000	0	#DIV/0!	⑩	0	#DIV/0!	12	0	#DIV/0!	#DIV/0!	####
	鋼矢板	SY295	40		0.000	0	#DIV/0!		0	#DIV/0!		0	#DIV/0!	#DIV/0!	
	合計						#DIV/0!					#DIV/0!	15 #DIV/0!		
燃料油	ガソリン	レギュラー	40		0.000	0	#DIV/0!	11	0	#DIV/0!	0	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	####
	重油	A重油	600		0.000	0	#DIV/0!	12	0	#DIV/0!	0	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	
	軽油	1.2号	8,000		0.000	0	#DIV/0!	11	0	#DIV/0!	0	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	
	合計						#DIV/0!					#DIV/0!	16 #DIV/0!		
その他の品目 ①	大型ブロック ...		200		0.000	0	#DIV/0!	#VALUE!	#VALUE!	0	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	####
	大型ブロック ...		650		0.000	0	#DIV/0!	#VALUE!	#VALUE!	0	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	
	合計						#DIV/0!			0	#VALUE!	17 #VALUE!			
その他の品目 ②	アスファルト混合物 ...		460		0.000	0	#DIV/0!	0	0	#DIV/0!	0	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	####
	アスファルト混合物 ...		460		0.000	0	#DIV/0!	0	0	#DIV/0!	0	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	
	合計						#DIV/0!			0	#DIV/0!	18 #DIV/0!			
スライド額	15 #DIV/0!	+	16 対象外 #DIV/0!	+	17 #VALUE!	+	18 #DIV/0!	-	14	0	=	19 #DIV/0!			

2. 単品スライド

請求額計算例

⑤ 設計時点の各材料の単価

(発注者が設定した当初契約時の各材料単価。受注者が当初契約時に想定した単価ではないことに注意。)

⑥ 当該月に購入した「数量」

主要材料	品目 (各材料)	規格	対象数量	設計単価	R3年4月		R3年5月		変動後の単価 (P')
					上段:数量	実勢単価	上段:数量	実勢単価	
					下段:比率	購入単価	下段:比率	購入単価	
鋼材類	異形棒鋼	SD295 D16	⑨	⑤ 86,000			⑤ 10.000	⑦ ⑧	⑩
	鋼矢板	SY295		147,500					
	0	0	0.000						0
	0	0	0.000						0
	0	0	0.000						0

2. 単品スライド

請求額計算例

- ⑦ 対象材料が現場に搬入された月の物価資料等の材料単価
 (当初積算単価が特別調査や見積りによる材料など、物価資料等に掲載されていない場合は未記入で構わない。)
- ⑧ 「購入単価」は、実際に取引した単価を記入
 (証明できる納品書、請求書、領収書等を提出)

主要材料	品目 (各材料)	規格	対象数量	設計単価	R3年4月		R3年5月		変動後の単価 (P')
					上段:数量	実勢単価	上段:数量	実勢単価	
					下段:比率	購入単価	下段:比率	購入単価	購入価格(P)
鋼材類	異形棒鋼	SD295 D16	⑨ 20.000	⑤ 86,000			⑥ 10.000	⑦ 88,500	⑩ 92,125
								⑧ 88,000	1,825,000
	鋼矢板	SY295	40.000	147,500					159,750
		0	0	0.000					0
		0	0	0.000					0
	0	0	0.000					0	

2. 単品スライド

請求額計算例

- ⑨ 【確認】 購入を証明できる「対象数量」が、「設計数量」を下回る場合は、当該材料はスライド対象とならない。
- ⑩ 搬入・購入時点における実勢単価（搬入・購入時期ごとの数量に応じた加重平均値）

主要材料	品目 (各材料)	規格	対象数量	設計単価	R3年4月		R3年5月		変動後の単価 (p')
					上段:数量	実勢単価	上段:数量	実勢単価	購入価格(p)
					下段:比率	購入単価	下段:比率	購入単価	
鋼材類	異形棒鋼	SD295 D16	⑨ 20.000	⑤ 86,000			⑥ 10.000	⑦ 88,500	⑩ 92,125
								⑧ 88,000	1,825,000
	鋼矢板	SY295	40.000	147,500					159,750
									6,300,000
				0.000					0
			0.000					0	
			0.000					0	

2. 単品スライド 請求額計算例

- ⑪ 購入価格を証明する資料が提出できる燃料油
(対象材料を購入した月の翌月の実勢単価を用いた加重平均値)
- ⑫ 購入価格を証明する資料が提出できない燃料油
(工期の始期が属する月の翌月から工期末が属する月の前々月までの各月における実勢価格の平均値)

購入価格を証明する資料が提出できる。

主要材料	各材料	規格	数量	設計単価	R3年4月		R3年5月		R4年3月		変動後の単価 (p)	
					上段:数量	実勢単価	上段:数量	実勢単価	上段:数量	実勢単価	購入価格	
燃料油	ガソリン	レ	40,000	130	0.000		130	0.000	0.000	149	⑪ 146	5,690
	重油	A重油	600,000	71	0.000		71	0.000	0.000	89	⑫ 80	52,500
	軽油	1.2号	8,000,000	114	0.000		114	0.000	0.000	132	⑪ 130	988,000
		0	0									0
	0	0										0

購入価格を証明する資料が提出できない。

2. 単品スライド 請求額計算例

⑬ 「価格変動後の金額(税込)」は、「落札率考慮」した価格変動後の金額 (⑬')) と「購入価格(税込)」 (⑬^P) の安い方を採用する。ただし、実際の購入価格が適当であると認められる場合は、「購入価格(税込)」 (⑬^P) とする。

⑭ 対象工事費 (② - ③) の1%相当額

【単品スライド計算例】

設計額	① 143,000,000	請負代金額	② 127,270,000	落札率(k)	0.89	部分払相当額	③ 77,000,000	1%相当額	⑭ 502,700
-----	---------------	-------	---------------	--------	------	--------	--------------	-------	-----------

《スライド対象判定表》

主要材料	品目 (各材料)	規格	設計数量	対象数量	価格変動前	価格変動前	価格変動後	対象数量×価格変動後の単価(税込)	落札率考慮	購入価格(税込)	価格変動後	変動額	判定
					の単価	の金額(税込)	の単価(税抜)				の金額(税込)		
	①	②	(D ₀)	(D)	p	D*p*k*(1+消費税率)	p'	D*p*(1+消費税率)	M変更*k	P*(1+消費税率)	M変更k or P'	(S ₀)	
鋼材類	異形棒鋼	SD295 D16	⑨ 20.0	⑩ 20,000	86,000	⑪ 1,683,880	⑩ 92,125	2,026,750	1,803,807	⑫ 2,007,500	2,007,500	323,620	○
	鋼矢板	SY295	40.0	40,000	147,500	5,776,100	159,750	7,029,000	6,255,810	6,930,000	6,930,000	1,153,900	
	合計					7,459,980					8,937,500	⑮ 1,477,520	
燃料油	ガソリン	レギュラー	40.0	40,000	130	5,090	⑪ 146	6,424	5,717	6,259	6,259	1,169	×
	重油	A重油	600.0	600,000	71	41,705	⑫ 80	52,800	46,992	57,750	57,750	16,045	
	軽油	12号	8,000.0	8,000,000	114	892,848	⑪ 130	1,144,000	1,018,160	1,086,800	1,086,800	193,952	
	合計					939,843					1,150,809	⑯ 211,166	
その他の品目 ①	大型ブロック	1500×670×900	200.0	200,000	23,500	4,601,300	0	0	0	5,390,000	5,390,000	788,700	○
	大型ブロック	1500×670×750	650.0	650,000	20,000	12,727,000	0	0	0	15,015,000	15,015,000	2,288,000	
	合計					17,328,300				20,405,000	20,405,000	⑰ 3,076,700	
その他の品目 ②	アスファルト混合物	粗粒度As(20)	460.0	460,000	10,500	4,728,570	10,500	5,313,000	4,728,570	5,616,600	5,616,600	888,030	○
	アスファルト混合物	密粒度As(13)	460.0	460,000	12,600	5,674,284	12,600	6,375,600	5,674,284	6,578,000	6,578,000	903,716	
	合計					10,402,854				12,194,600	12,194,600	⑱ 1,791,746	
スライド額	⑮ 1,477,520	+ ⑯ 対象外0	+ ⑰ 3,076,700	+ ⑱ 1,791,746	- ⑭ 502,700	= ⑲ 5,843,266							

2. 単品スライド 請求額計算例

- ⑮ 「鋼材類」の変動額の合計が、1%相当額(⑭)を超えていれば、対象材料となる。
- ⑯ 「燃料油」の変動額の合計が、1%相当額(⑭)を超えていれば、対象材料となる。

【単品スライド計算例】

設計額	① 143,000,000	請負代金額	② 127,270,000	落札率(k)	0.89	部分払相当額	③ 77,000,000	1%相当額	⑭ 502,700				
<p>《スライド対象判定表》</p>													
主要材料	品目 (各材料) ①	規格 ②	設計数量 (Do)	対象数量 (D)	価格変動前 の単価 ④ (p)	価格変動前 の金額(税込) (M当初)	価格変動後 の単価(税抜) (p')	対象数量×価格変動後 の単価(税込) (M変更)	落札率考慮 (M変更)k	購入価格 (税込) (P)	価格変動後 の金額(税込) (M変更)	変動額 (So)	判定
			Do	D	p	D*p*k* (1+消費税率)	p'	D*p'* (1+消費税率)	M変更*k	P* (1+消費税率)	M変更k or P'	M変更 - M当初	
鋼材類	異形棒鋼	SD295 D16	⑨ 20.0	⑩ 20,000	86,000	⑪ 1,683,680	⑩ 92,125	2,026,750	1,803,807	⑫ 2,007,500	2,007,500	323,620	○
	鋼矢板	SY295	40.0	40,000	147,500	5,776,100	159,750	7,029,000	6,255,810	6,930,000	6,930,000	1,153,900	
	合計					7,459,980					8,937,500	⑮ 1,477,520	
燃料油	ガソリン	レギュラー	40.0	40,000	130	5,090	⑪ 146	6,424	5,717	6,259	6,259	1,169	×
	重油	A重油	600.0	600,000	71	41,705	⑫ 80	52,800	46,992	57,750	57,750	16,045	
	軽油	12号	8,000.0	8,000,000	114	892,848	⑪ 130	1,144,000	1,018,160	1,086,800	1,086,800	193,952	
	合計					939,643					1,150,809	⑯ 211,166	
その他の品目 ①	大型ブロック	1500×670×900	200.0	200,000	23,500	4,601,300	0	0	0	5,390,000	5,390,000	788,700	○
	大型ブロック	1500×670×750	650.0	650,000	20,000	12,727,000	0	0	0	15,015,000	15,015,000	2,288,000	
	合計					17,328,300				20,405,000	20,405,000	⑰ 3,076,700	
その他の品目 ②	アスファルト混合物	粗粒度As(20)	460.0	460,000	10,500	4,728,570	10,500	5,313,000	4,728,570	5,616,600	5,616,600	888,030	○
	アスファルト混合物	密粒度As(13)	460.0	460,000	12,600	5,674,284	12,600	6,375,600	5,674,284	6,578,000	6,578,000	903,716	
	合計					10,402,854				12,194,600	12,194,600	⑱ 1,791,746	
スライド額	⑮ 1,477,520	+ ⑯ 対象外0	+ ⑰ 3,076,700	+ ⑱ 1,791,746	- ⑭ 502,700	= ⑲ 5,843,266							

2. 単品スライド

請求額計算例

⑰ ⑱ 「その他の品目」の品目（各材料）ごとの変動額が、1%相当額（⑭）を超えていれば、対象材料となる。

⑲ 変動額

【単品スライド計算例】

設計額	① 143,000,000	請負代金額	② 127,270,000	落札率(k)	0.89	部分払相当額	③ 77,000,000	1%相当額	⑭ 502,700
-----	---------------	-------	---------------	--------	------	--------	--------------	-------	-----------

《スライド対象判定表》

主要材料	品目 (各材料) ①	規格 ②	設計数量 (Do)	対象数量 (D)	価格変動前 の単価 ④ (p)	価格変動前 の金額(税込) (M当初)	価格変動後 の単価(税抜) (p')	対象数量×価格変動後 の単価(税込) (M変更)	落札率考慮 (M変更)k	購入価格 (税込) (P)	価格変動後 の金額(税込) (M変更)	変動額 (So)	判定
			Do	D	p	D*p*k* (1+消費税率)	p'	D*p'* (1+消費税率)	M変更	P*	M変更	M変更 - M当初	
鋼材類	異形棒鋼	SD295 D16	⑨ 20.0	⑩ 20,000	86,000	⑪ 1,683,680	⑩ 92,125	2,026,750	1,803,807	⑫ 2,007,500	2,007,500	323,620	○
	鋼矢板	SY295	40.0	40,000	147,500	5,776,100	159,750	7,029,000	6,255,810	6,930,000	6,930,000	1,153,900	
	合計					7,459,980					8,937,500	⑮ 1,477,520	
燃料油	ガソリン	レギュラー	40.0	40,000	130	5,090	⑪ 146	6,424	5,717	6,259	6,259	1,169	×
	重油	A重油	600.0	600,000	71	41,705	⑫ 80	52,800	46,992	57,750	57,750	16,045	
	軽油	12号	8,000.0	8,000,000	114	892,848	⑪ 130	1,144,000	1,018,160	1,086,800	1,086,800	193,952	
	合計					939,643					1,150,809	⑮ 211,166	
その他の品目 ①	大型ブロック	1500×670×900	200.0	200,000	23,500	4,601,300	0	0	0	5,390,000	5,390,000	788,700	○
	大型ブロック	1500×670×750	650.0	650,000	20,000	12,727,000	0	0	0	15,015,000	15,015,000	2,288,000	
	合計					17,328,300				20,405,000	20,405,000	⑮ 3,076,700	
その他の品目 ②	アスファルト混合物	粗粒度As(20)	460.0	460,000	10,500	4,728,570	10,500	5,313,000	4,728,570	5,616,600	5,616,600	888,030	○
	アスファルト混合物	密粒度As(13)	460.0	460,000	12,600	5,674,284	12,600	6,375,600	5,674,284	6,578,000	6,578,000	903,716	
	合計					10,402,854				12,194,600	12,194,600	⑮ 1,791,746	
スライド額	⑮ 1,477,520	+ ⑯ 対象外 0	+ ⑰ 3,076,700	+ ⑱ 1,791,746	- ⑭ 502,700	= ⑲ 5,843,266							

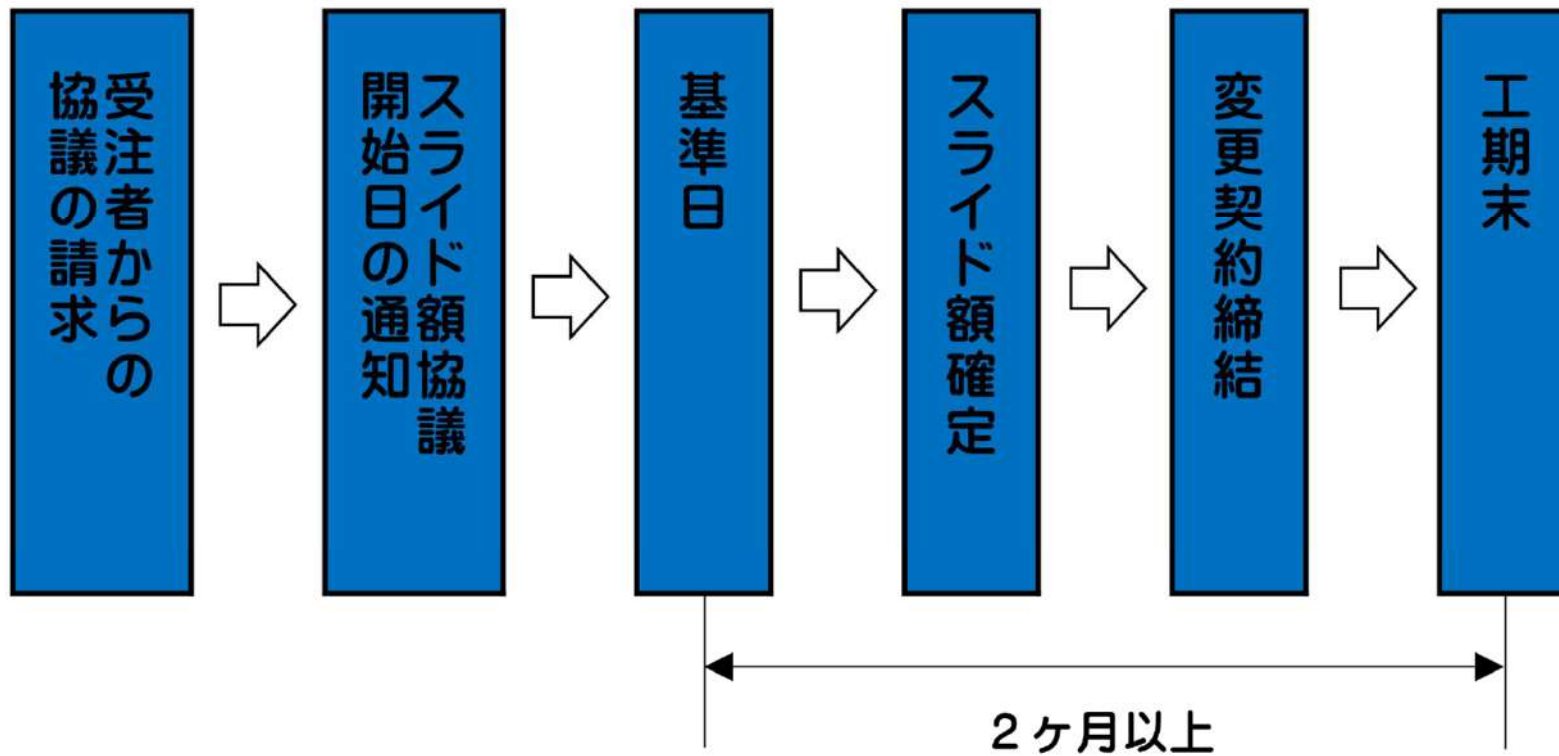
3. 全体スライド

3. 全体スライド

〈 建設工事請負契約書第26条第1項～第4項 〉

3. 全体スライド

■手続きの流れ



3. 全体スライド

対象 (A)	対象外
<ul style="list-style-type: none"> ・基準日 (※1) 以降に施工する部分 ・基準日以降に購入する工事材料 	<ul style="list-style-type: none"> ・基準日時点で施工済み部分 ・基準日時点で現場搬入済み工事材料 <p>発注者が出来高数量を確認します。</p>

※1 基準日：受注者がスライド協議を請求した日を基本とし、出来高を確認する日

スライド額 (変更額)

$$= \text{Aの変動額} - \frac{\text{Aの契約時点の残工事金額}}{\text{}} \times 1.5\%$$

(※2)

(※3)

※2 変動額：基準日時点の工事金額 - 契約日時点の工事金額

※3 工事金額：官積算による工事価格 × 落札率

3. 全体スライド

スライド額の算出

$$S = [P 2 - P 1 - (P 1 \times 1 5 / 1 0 0 0)] \quad (\text{ただし、} P 1 < P 2)$$

この式において、S、P 1及びP 2は、それぞれ次の額を表す。

S：スライド額

P 1：変動前残工事金額（請負代金額から基準日における出来形部分に相應する請負代金額を控除した額）（税込み）

P 2：変動後残工事金額（変動後(基準日)の賃金又は物価等を基礎として算出した（P 1）に相当する額）（税込み）

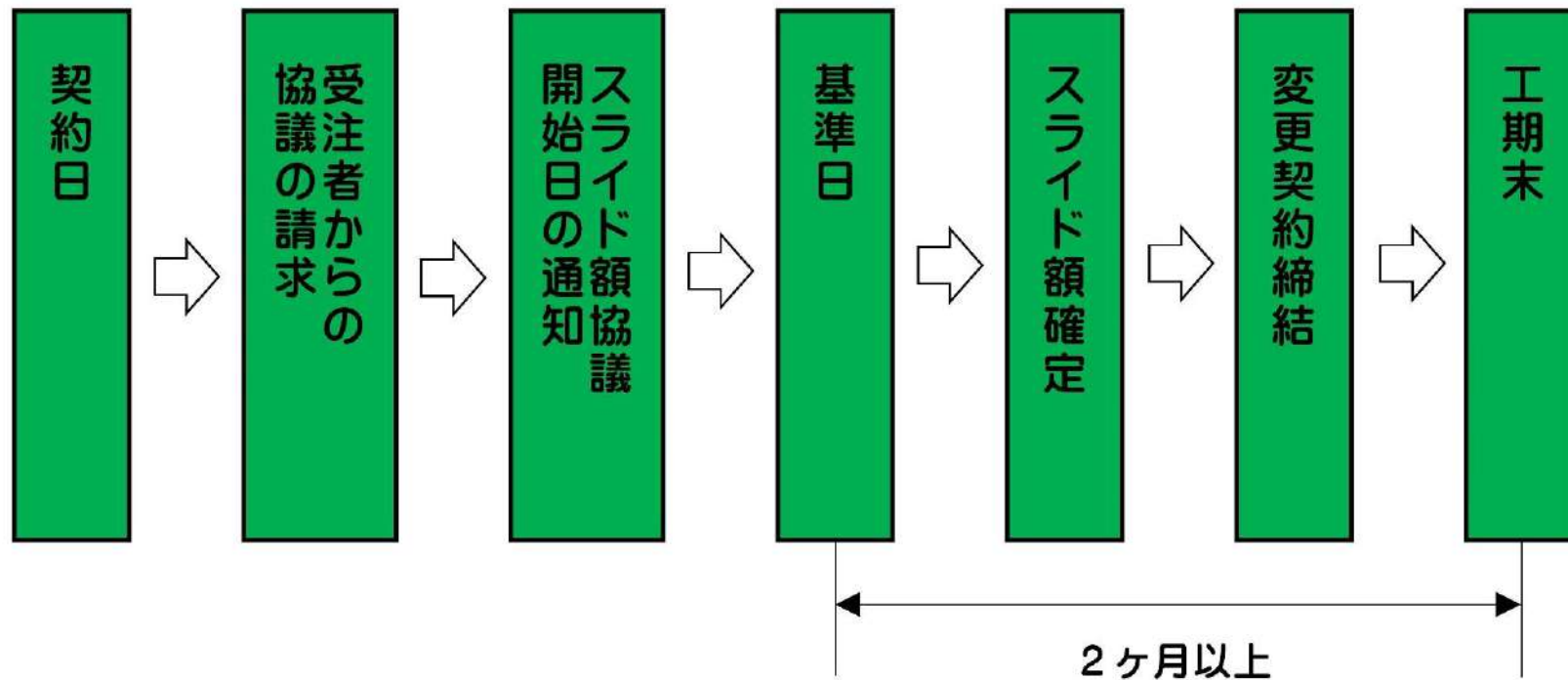
4. インフレスライド

4. インフレスライド

〈 建設工事請負契約書第26条第6項 〉

4. インフレスライド

■手続きの流れ



4. インフレスライド

対象 (A)	対象外
<ul style="list-style-type: none"> ・基準日 (※1) 以降に施工する部分 ・基準日以降に購入する工事材料 	<ul style="list-style-type: none"> ・基準日時点で施工済み部分 ・基準日時点で現場搬入済み工事材料 <p>発注者が出来高数量を確認します。</p>

※1 基準日：受注者がスライド協議を請求した日を基本とし、出来高を確認する日

スライド額 (変更額)

$$= \text{Aの変動額} - \frac{\text{Aの契約時点の残工事金額}}{\text{落札率}} \times 1\%$$

(※2)

(※3)

※2 変動額：基準日時点の工事金額 - 契約日時点の工事金額

※3 工事金額：官積算による工事価格 × 落札率

4. インフレスライド

スライド額の算出 ※増額スライドの場合

$$S = [P2 - P1 - (P1 \times 1 / 100)] \quad (\text{ただし、} P1 < P2)$$

この式において、S、P1及びP2は、それぞれ次の額を表す。

S：スライド額

P1：変動前残工事金額（請負代金額から基準日における出来形数量に相応する請負代金額を控除した額）（税込み）

$$P1 = \text{変動前残工事の工事価格} \times \text{落札率} \times (1 + \text{消費税率})$$

P2：変動後残工事金額（変動後(基準日)の賃金又は物価等を基礎として算出した(P1)に相当する額）（税込み）

$$P2 = \text{変動後残工事の工事価格} \times \text{落札率} \times (1 + \text{消費税率})$$

5. お問い合わせ先

■具体的な請求方法について
各発注機関

■スライド額の算出方法について
千葉県 技術管理課 技術情報班
TEL : 043-223-3503
E-mail : gijutu39@mz.pref.chiba.lg.jp

ご視聴ありがとうございました

